

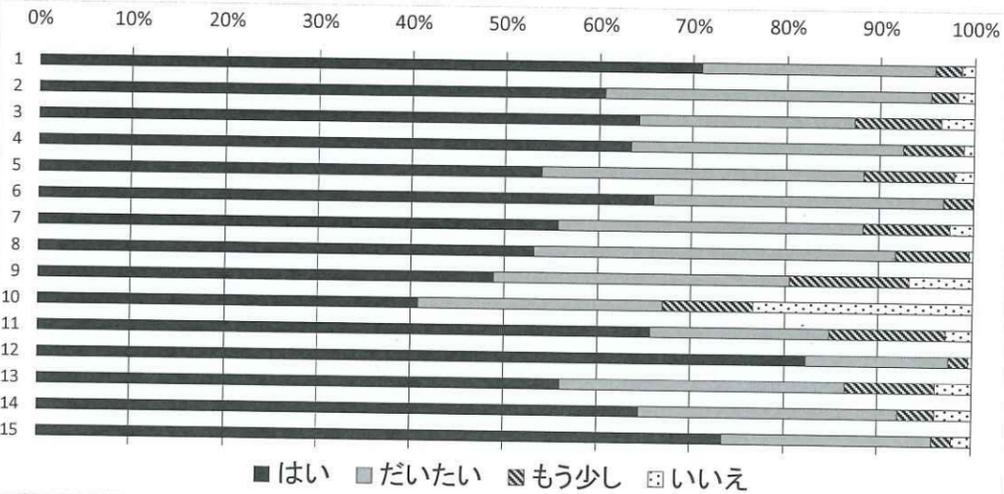
保護者・地域のみならず、本校の学校教育にいつもご理解とご協力ありがとうございます。
7月に実施した(児童・保護者・教職員・地域)アンケートの集計ができました。分析した結果をお知らせいたします。



～学校アンケートの結果(児童・保護者)～

児童集計

1	学校生活は楽しいですか。	9	悩みやこまっていることを相談できていますか。
2	学校での学習はよくわかりますか。	10	小学校と中学校で一緒にいろいろな取組をすすめていることを知っていますか。
3	将来の夢や希望をもって学習できていますか。	11	外で元気に体を動かしていますか。
4	GIGA端末を調べ学習や様々な活動に使うことができますか。	12	安全に気を付けて生活できていますか。
5	家庭学習に進んで取り組んでいますか。	13	好き嫌いをせずにバランスよく食べていますか。
6	学校のきまりや社会のルールを守っていますか。	14	学年2人(3人)の先生が担任であることで、学校生活は過ごしやすくなりましたか。
7	自分から挨拶をしていますか。	15	先生が教科ごとに代わる授業は、わかりやすかったですか。
8	他の人を思いやった言動ができていますか。		



●設問7の「あいさつ」については、1学期は特に重点をおいて指導しました。全校児童が集まる朝会において、あいさつの重要性を教職員が指導すること以外にも、朝会において児童が「あいさつをして、どのような気持ちになったのか？」を交流して、積極的に取り組んでいこうと学校全体でよびかけることができました。

●設問10の「児童生徒の小中交流の取組」については、6年生の中学校授業体験のみになっているので、6年生以外には、中学校との交流についてあまり知らない児童が多い現状です。今後、小中一貫教育を進めていく上で、他学年との交流も模索していきたいと思えます。また、低・中学年においても、保幼小の連携を進めて行くことで、長い期間を見通した教育的効果の向上を図っていききたいと思います。

●設問14と15の「チーム担任制」や「教科担任制」については、9割以上の児童が、今のところ問題なく学校生活を送ることができていると回答しています。今後も、児童や保護者の皆様のご意見に耳を傾けながら、児童にとってよりよいものにしていききたいと思います。

保護者集計



1	お子さんは、安心して、楽しく登校することができていると思われませんか。	9	お子さんが悩みや困りに対して学校に気軽に相談できていると思われませんか。
2	お子さんは学習内容がよくわかっていると思われませんか。	10	小中が連携して教育活動に取り組んでいると思われませんか。
3	お子さんは夢や目標をもって活動できていると思われませんか。	11	お子さんは、外で元気に体を動かしていますか。
4	お子さんは、学習や各種教育活動にGIGA端末等のICT機器を活用していると思われませんか。	12	お子さんが、安全に生活できるように声かけをされていますか。
5	お子さんは、家庭学習に取り組んでいると思われませんか。	13	お子さんが、バランスの良い食事をとるように心がけていますか。
6	お子さんは、学校のきまりや社会のルールを守れていると思われませんか。	14	お子さんにとって、チーム担任制は、よりよいものだと思いますか。
7	お子さんは、自分からすすんで挨拶ができていると思われませんか。	15	お子さんにとって、教科担任制は、よりよいものだと思いますか。
8	お子さんは、他者を大切に、仲良く過ごすことができていると思われませんか。		



●設問5では、家庭学習の取り組みるようになってきたと回答された方が昨年度より10ポイント以上増えました。家庭学習の充実については、本校においても数年前より研究の柱として取り組んできました。特に、自主学習ノートの実践では、どの学年も工夫を凝らし、自主的に課題に向かって学習する姿勢が見られ、その頑張りを全校で共有する機会をもつことで、児童の自主学習へのモチベーションを高めることができてきたのではないかと思います。

●設問9では、「もう少し」「いいえ」が、40%近くの回答でした。今年度から、チーム担任制を導入することで、複数の教員が目で見守り、学級担当の先生以外の先生にも気軽に相談できる体制を構築できるように取り組んでいます。まだまだ児童からすると、この体制にできない部分もあると思いますので、今後さらに、チーム担任制について児童が理解を深めてくれるように働きかけていきたいと思えます。また、普段の児童の様子を、学年・学年部で緊密に連携・共有を図ることで、児童の困りや悩みのサインを見逃すことなく対応していけるよう努力していきます。

●設問14・15の「チーム担任制」や「教科担任制」については、「はい」「だいたい」の回答が90%近くでした。まだ、始めたばかりで、メリット、デメリットについて評価が難しいというご意見が多かったようです。特にチーム担任制については、今後、朝の会や帰りの会、給食時間などの担当を学年で交互にするなど、学年担任がどちらの学級の児童のことも把握できるようにするなどして、少しずつ取り組みを進めていきたいと思えます。

音羽小学校は、市民ぐるみ・地域ぐるみの教育の核としての学校をめざしています

京都市では、今日に至る教育改革の柱として、徹底して「開かれた学校づくり」を推進してきました。これは、学校と家庭・地域との相互の信頼と協働の関係を構築する基盤となっています。今後も、保護者・地域の方々に参画いただき市民ぐるみ・地域ぐるみの教育を展開していきます。変化の激しい現代社会において、子どもたちが夢と希望をもって未来を切り拓いていけるよう、「生きる力」を育み、社会全体で子どもたちの教育に取り組んでいくことが大切です。子どもたちの豊かな学びと育ちのために、なおいっそうのご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

特集 学校評価 (2)

学校教育目標

「夢と希望にむかって光り輝く音羽の子」
～よりよい未来を創造しようとする子の育成～

保護者・地域のみならず、本校の学校教育にいつもご理解とご協力ありがとうございます。
7月に実施した(児童・保護者・教職員)アンケートの集計ができました。分析した結果をお知らせいたします。

～学校アンケートの結果(教職員・地域)～

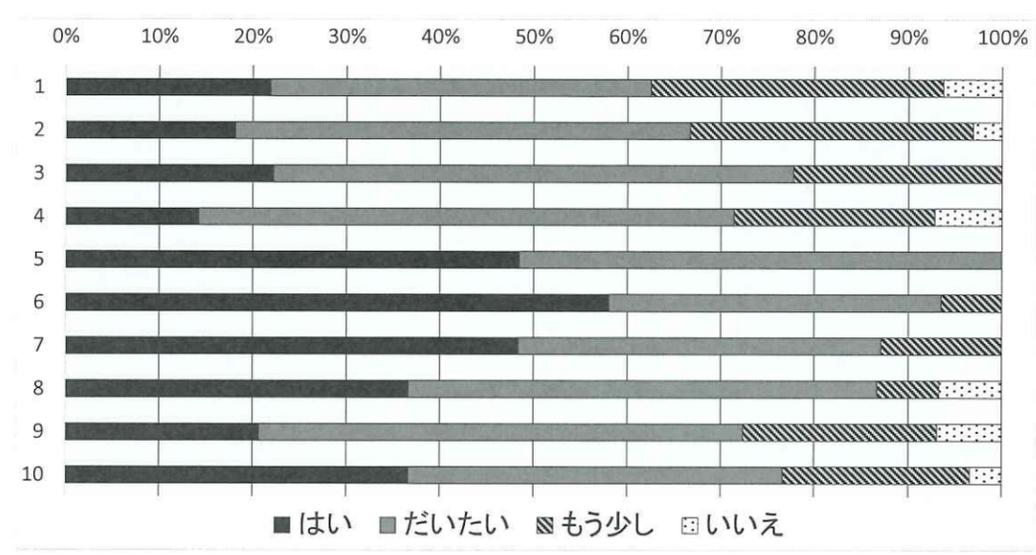
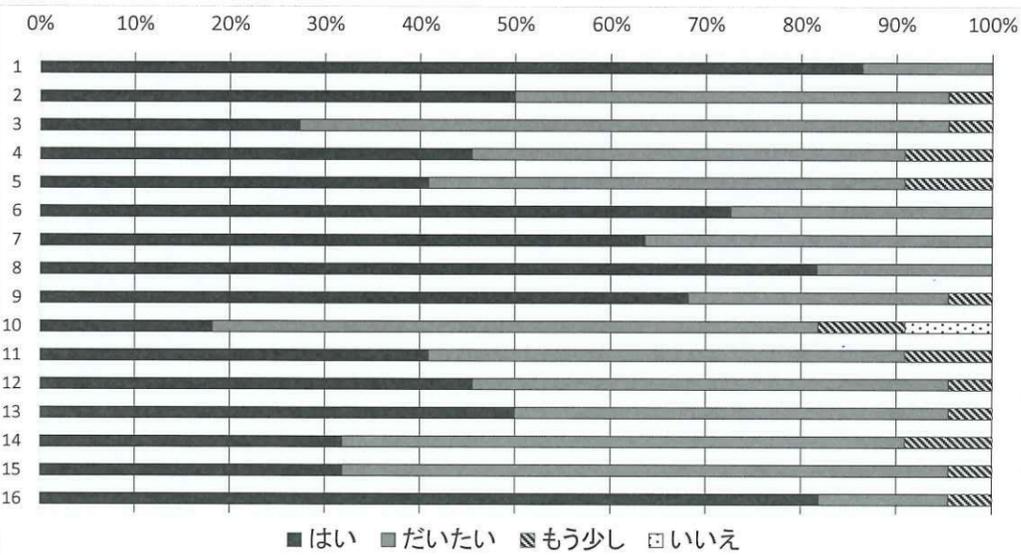
教職員集計



1	児童一人一人を大切に、安心して学校生活を送れるような環境づくりができていると思いますか。	9	児童・保護者の訴え(アンケート結果を含む)や相談内容を共有できていると思いますか。
2	教材や指導法を工夫し、わかりやすい授業を行うことができていると思いますか。	10	小中が連携して教育活動に取り組んでいると思いますか。
3	将来の夢や希望をもてるようなキャリア教育を行うことができていると思いますか。	11	体力向上の取組を意識して進めることができていると思いますか。
4	学習や各種教育活動にGIGA端末等のICT機器を活用させることができていると思いますか。	12	安全教育の充実ができていますか。
5	児童に自学自習の力を身に付けさせることができていると思いますか。	13	健康教育・食育に力を注いでいますか。
6	児童に学校のきまりや社会のルールを守るように指導できていると思いますか。	14	チーム担任制により、教育的な効果がありましたか。
7	児童に挨拶の習慣を身に付けさせることができていると思いますか。	15	教科担任制により、教育的な効果はありましたか。
8	児童の誤った言動に対しては、素早く対応し指導していると思いますか。	16	全教職員が学校いじめ防止等基本方針の内容を理解し、組織的対応に努めていると思いますか。

地域集計

1	子どもたちは、あいさつをしていますか。	6	教職員は、率先して地域の方にあいさつをしていますか。
2	子どもたちは、登下校時や放課後、休日に交通ルールを守り、安全に過ごすことができていると思いますか。	7	学校は、安心・安全な場所になっていると思いますか。
3	子どもたちは、進んで地域行事に参加していますか。	8	学校は、環境整備や美化活動に取り組んでいますか。
4	学校教育のねらいが伝わっていますか。	9	学校が中心となって、地域・PTAと連携が取れていますか。
5	学校だより・学校ホームページ等を通して、学校の様子が伝わっていますか。	10	学校は、地域を大事にし、地域の方が学校の行事に参加しやすい取組ができていますか。



●設問7では、すべての教職員が「はい」「だいたい」と回答していました。児童アンケートでもふれたように1学期は「あいさつ」について重点的に指導してきました。児童に指導する教職員も、まず自ら範を示すために積極的にあいさつすることを心がけています。

●設問11では、90%以上が「はい」「だいたい」と回答しました。コロナ禍での制限もなくなり、学校生活の中でも、自由に運動できる機会が増えました。休み時間の運動場には、毎日多くの児童が外遊びをしている様子が見られます。放課後の運動場開放も再開し、サッカーなどのボールを蹴る遊びなど普段の中間休みにはできない遊びができて、喜んでいる児童もいます。また、1学期は体育委員会主催の「リレー大会」も行い、チームで協力して運動することを楽しんでいました。今後も、運動会や縄跳び大会、マラソン大会など、普段の体育科の授業の学びとも連動したスポーツや遊びを通して、体力を向上していきたいと思っています。

●設問14・15の「チーム担任制」や「教科担任制」では、教科担当決めることで、教材研究に焦点を当てて取り組めることや複数教員で、児童を見守ることができることはよいことだと実感はしているものの、時間割調整や学級間の情報共有の難しさなど、課題もあり、まだまだ改善する必要があると感じている教職員が多いです。

●設問1では、前回よりも「もう少し」「いいえ」の回答が10ポイント減少していました。学校や家庭はもちろん、お世話になっている地域の皆さんにも積極的にあいさつコミュニケーションをとることができる音羽っ子を育成していきたいと思っています。感謝の思いを元気いっぱいあいさつで伝えていこうという学校風土を作っていきたいと思っています。

●設問3では、前回よりも「もう少し」「いいえ」の回答が20ポイント減少していました。コロナ禍での制限がなくなり、地域行事へ参加する児童も徐々に増えてきているようです。地域コミュニティの中で、様々な人と出会い、学ばず中、ふるさとの良さを誇りに思っていきたいと思っています。

●設問9も、以前に比べ「もう少し」「いいえ」の回答が10ポイント減少しています。高学年を対象にした着衣泳や防災学習を消防署や消防団など地域の方の協力で行うなど、PTAが中心となって、地域と児童をつなげる取り組みをしています。今後も地域や子どもたちのための活動を、実践していきたいと思っています。

学校評価を ふりかえって

～1学期学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました～

結果から、音羽小学校の教育が地域の皆様・保護者の皆様のご理解と温かな見守りに支えられていることを再確認するとともに、本校の課題も明らかにすることができました。

学校教育目標『夢と希望にむかって光り輝く音羽の子』～よりよい未来を創造しようとする子の育成～

の具現化をめざし、取組を進めて参りたいと思います。これからも、ご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

